

銀漢亭日録



伊藤伊那男

1月8日(日) ▼四時起床。大山かげもとさんの句稿再見。十一時半、下北沢、大山さんを訪問し、質問や確認。駅でばったり甥の今村正俊君と会う。十三時、中野サンブラザ「春耕同人句会」。あと「炙屋」にて新年会。中華店の二次会も。雨。

9日(月) ▼大山句集の跋文六枚書き、ご本人、武田さんに送る。二人の孫は各々スキー合宿から、桃子と二人の孫は スキー旅行から戻り全員揃う。改めて家族食事会。

10日(火) ▼「春耕新年俳句大会」の募集句の選約九百句あり。特選句評付けて洋酔さんに返送す。ランニングマシン時速4〜5 kmにして四十五分。店、「宙句会」あと十五人。あと堀切君といづみさんと「大金星」で慌しく飲む。高幡不動尊の川澄祐勝大僧正より「銀漢」へ基金を戴く。何とも有難く有難く。

11日(水) ▼R・M(ランニングマシーン)一時間。発行所「梶の葉句会」の選句。店「きさらぎ句会」あと九人。全体閑散。

12日(木) ▼R・M一時間。「極句会」あと十一人。閑散。

13日(金) ▼R・M、時速5〜6 kmで5 km。十三時、京王プラザホテルにて俳人協会「新年の集い」に出席。堀切克洋君の新鋭評論賞を仲間で祝う。店、飯田高校の太原さんが伊那北高校の先輩お二人、法政大学の高柳先生と。伊那北の先輩の一人は我々の時代の埋橋校長のご子息であった！ 二十二時に閉め、堀切君他と大金星で改めて祝杯。

14日(土) ▼十時運営委員会、バスタのランチで作句。十三時、「銀漢本部句会」六十三人。あと「テング酒場」で親睦会。やや疲れあり、帰宅してこんこんと寝る。

15日(日) ▼もしかしたら疲れは、三四日はどランニングマシンに乗った結果であろうか。十一時半のレッドアロー号で秩父へ。車

中でエッセイ。「武蔵野探勝句会」の吟行会に。割烹「かつら」の猪鍋から参加。昨年、この鍋に感動して、また計画してもらったもの。朝から茹卵一つだけであったがこの鍋で力が付く。五句出し句会。十九時、成城に戻ると道でばったり家族とすれ違う。焼肉屋に行くとして誘われるが、体調不良にて帰宅し風呂。

16日(月) ▼回復。R・M一時間。店「かさ、ぎ俳句勉強会」あと十三人。大阪から永山憂仔さん寄って下さる。対馬康子さん。

17日(火) ▼R・M一時間。店「火の会」フルメンバー十三人が集まる。

18日(水) ▼R・M一時間。店「閨句会」八人。「三水会」六人。あと井蛙、展枝、いづみさんと新年会余興の打合せなど。

19日(木) ▼「あ・ん・ど・ウクリニク」。R・M一時間。発行所「銀漢亭こぼれ嘶ーそして京都」の写真の選定。装幀の打合せなど。「銀漢句会」あと十六人。事業部いづみ・井蛙さん新年会の式次第の作成など。「角川新年会」あと真砂年、山崎祐子、峯尾文世、梅田津、敦子さん……など寄って下さる。

20日(金) ▼発行所、「鳶句会」あと七人。「金星句会」あと八人。他、閑散。寒い一日。

21日(土) ▼妻命日。京都の和田ちゃんから生湯葉、伊集院静先生から線香が届く。R・M一時間。十四時、日本橋「鯨の与志喜」にて「纏句会」。ゲストに「未来図」の遠藤由樹子さん。あと煮込、かぶらのあんかけ、題に出た「寒鰯」から真鰯のうま煮。あと、握り一通り。帰宅して久々に家族で食事。たん塩、ミノの焼肉。京湯葉など。

22日(日) ▼R・M一時間。午後、妻を偲ぶ会。兄夫婦、義妹夫婦来宅。河豚刺、鍋など。一眠りして俳人協会の機関誌「俳句文学館」へエッセイ。「NHK俳句」の「俳句と暮らす」コーナーへ「仕事」をテーマに二頁分。十六時半まで。

23日(月) ▼R・M一時間。宮澤、京都へ一週間撮影と。昼寝。店、「演劇人句会」八人。昨日、坂口晴子さん「NHK全国俳句大会」で表彰。その坂口さん、福岡の永淵さん、半田さん来店。橋野さん三人。その他賑やか。

24日(火) ▼R・M一時間。「萩句会」選句。寒い一日。皆川文弘さん。店閑散。

25日(水) ▼R・M一時間。店「雛句会」十一人。事業部、新年会の準備で大わらわ。繁忙。

28日(土) ▼十三時より、「銀漢俳句会年次総会」湯島の全国家電会館。十六時、湯島天神。新年の祈禱あと新年会。私は伊那の勘太郎の扮装で入場。大盛り上がりの宴会。百六名参加。「銀漢亭」で二次会。

29日(日) ▼終日家。新年俳句大会終え、休養の一日。但し三月号の選句もまだ。夜、成城仲間の社さん一家来宅。温泉豆腐鍋、蜆烏賊生姜煮、鮎と山芋、うるい、秩父の豚の味噌漬、からすみ、とこぶし煮などでもてなす。

30日(月) ▼R・M一時間。昨日、莉子スキー合宿から戻り、今日、華子、龍正が合宿に。店、「銀化」の峯尾文世、潮田新編集長と。池田のりを、松山さんなど。近所の「都夢」閉店し、「うどの」という店が入ると挨拶あり。商売の難しい町である。

31日(火) ▼三月号の原稿、追い込み。家族の残りも今日からスキーへ。家族各々三箇所のスキー場。店、三輪初子さん店のお手伝い引退の感謝と太田うさぎさん誕生祝の会。二十人程集合。「初」「うさ」の読み込みの句を持参して記帖。二十三時お開き。「初場所の四股を最後に引退と」〈酒二本うさぎ結びに寒見舞〉

2月1日(水) ▼原稿追い込み。店、金融会社時代のオーナー、財務部長だった神村さん、N銀行の担当だった絹田さんなど同窓会。オーナーとは十七年振り位か。お元氣！ この方が四百億円の資金

を拠出して会社を作ったのであった。「宙句会」あと九人。「きさらぎ句会」あと七人。

2日(木) ▼原稿。店、「十六夜句会」あと十三人。大和、一斗さんゲスト。小川洋さん久々。

3日(金) ▼彗星集選評を辻本美紗さんに送り、三月号の原稿終了。新年会等があったとはいえ、もう少しエンジン掛けないと……。店「大倉句会」あと二十三人。

4日(土) ▼終日家。エッセイ集の校正。掲載写真につき宮澤と打合せなど。夜、家族で食事。一人だけスキー合宿から戻らず。生牡蠣、丹波の合鴨焼、秩父の豚肉味噌漬、新玉葱サラダ、独活のキンピラ、シャンパンなど。

5日(日) ▼1月の月次決算表作成。礼状。「鎌倉句会」「春星句会」の選句など。十三時、中野サンブラザ「春耕同人句会」。「未来図」の新海あぐりさんより『満州集団自決』を戴いたので7階の「未来図」の句会場へ挨拶。鍵和田柚子先生おられて「銀漢」誌充実している、とお褒めの言葉を戴く。句会あと「炙屋」にて親睦会。あともう一軒、牡蠣蒸焼。あと一人で新宿で少々。

6日(月) ▼原田さがみさんの句集稿選。R・M一時間。六日ぶり。原田句稿を担当の多田悦子さんに手渡し。店「かさ、ぎ俳句勉強会」あと十三人。梅田津、峯尾文世、「銀化」編集長・潮田さん。青柳フエイ、西村和子、小川洋さんなど。ベルギーつながりの四人。

7日(火) ▼R・M五十分。やや速度早め、5 km。店、閑散。皆川文弘さん見えたので、二十時半で閉めて、近所の某店に無理矢理誘い、新幹線の出る時間まで付き合っていただく。あと一人でもう一軒。新百合ヶ丘まで乗り越し。ああ……。

8日(水) ▼エッセイ集何度目かの校正。R・M。発行所、「梶の葉句会」選句。カウンター賑わうが全体もう一つ。